

原池公園事業

(1)原池公園の概要

原池公園は、昭和40年に都市計画決定された、計画面積17.5haの運動公園です。現在、約7.41haの公園が開設し、主な施設は体育館(アリーナ、トレーニング室、多目的室)、スケートボードパーク、修景池、バーベキュー広場、遊具広場、駐車場などです。また、災害時には広域避難地の機能を有する都市公園に位置づけられているほか、体育館は指定避難所として指定されています。

所在地	大阪府堺市中区八田寺町・平井
都市計画(計画日)	都市公園(S40.7.29)
都市公園の種別	運動公園
都市計画決定面積	17.5ha
開設面積	約7.41ha
防災に関する位置づけ	広域避難地の機能を有する都市公園 体育館は指定避難所

(2)原池公園の位置

原池公園は、本市の中央部に位置し、交通アクセスは最寄駅である泉北高速鉄道深井駅から原池公園入口まで徒歩約20分(約1.6km)、JR阪和線津久野駅や泉北高速鉄道泉ヶ丘駅および深井駅よりバスの運行路線があります。また、車での利用の場合は阪和自動車道堺ICや堺泉北道など幹線道路から近く、市内外からのアクセス性に優れています。

(3)公園整備の経過

平成6年 事業着手
平成19年 第1期(体育館、駐車場)完成 3.7ha
平成23年 第2期(修景池、スケートボードパークなど)完成 7.41ha



(4)整備方針

①本格的な野球場の整備

高校野球夏季予選大会や社会人野球全国大会予選、プロ野球2軍戦等、市民が質の高い環境で野球に親しめ、レベルの高い試合を観戦できるプロ野球公認規格の野球場を整備します。

②健康、レクリエーション機能の充実(少子・高齢化対応)

市民のウォーキング、ジョギング等のニーズ、子どもの健全な発達、高齢者健康維持等が、快適に行える公園の整備に努めます。  ジョギング・ウォーキングイメージ

③安全、安心な公園づくり(防災機能の拡充)

大災害時に広域避難地として十分機能するように、避難に十分な空地確保と防災施設を整備します。

④景観に配慮した公園整備

周辺の景観に十分配慮した施設や植栽計画とします。

(5)主要施設

■野球場

収容人員5000人規模の野球場を整備します。

■園路

既開園エリアと合わせ、ウォーキング・ジョギングコースを整備します。園路沿いに健康遊具を配置した場所を、2箇所整備します。

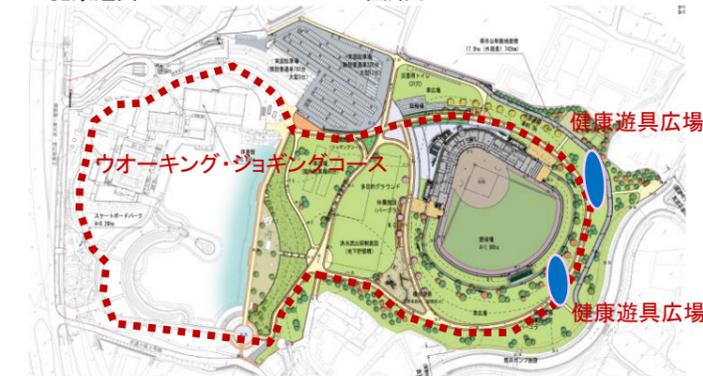
また、緊急災害時に大型車両が通行できる主園路(幅員6.0m)を園内に整備します。



健康遊具



園路イメージ



■広場

多目的グラウンドでは、子ども向けの複合遊具と周辺には子どもたちを見守ることができる休憩施設を配置します。

また、防災トイレ31穴および非常用ヘリポートのスペースを確保します。



遊具



防災トイレ

■駐車場

公園利用者向けに、大型車12台、普通車342台を増設します。既存北側出入口部分を改修し、入退場ゲートを増設、安全性を向上させます。

(6)その他

■コスト削減への配慮

ライフサイクルコスト削減を図るため、入手容易な材料の使用や補修しやすい製品を採用します。また地形を生かした造成計画とし、イニシャルコストを削減します。

(7)スケジュール(予定)

平成28年度 実施設計
平成29年度 造成・建設工事着手
平成31年度 野球場部分完成
平成33年度 公園全体完成